

共産党、2023年度決算に反対

日本共産党は、9月議会に提出された2023年度決算の認定議案のうち、一般会計と国保・介護・後期高齢者医療の3特別会計の認定に反対しました。

秘密裏に検討されてきた小中一貫校

一般会計については、①昨年9月議会で市長が突然打ち出した第1小学校と旭東小学校の廃止、柏中学校区での小中一貫校開設の計画が、市民にも議会にも隠したまま一昨年から検討され、昨年度予算の質疑では事実を偽る説明さえ行われていたこと、②柏駅周辺の大規模開発に関係して、ほとんど情報が開示されないなかで旧そごう跡地の86億円での取得が進められていることを指摘しました。市民と議会をあまりにも軽視しています。

ため込み金 555 億円でも、市民には負担増

また3つの特別会計についても、柏市の基金（ため込み金）が過去最高の554億9千万円に達しているもとの、国保・介護・後期高齢者医療の保険料値上げが決められ、強行されていることを厳しく批判しました。

「小中一貫校」の請願採択

小中一貫校の問題では、市の強引な進め方に地域の保護者から不安の声があがっています。9月議会には「柏中学校区の小中一貫教育の推進について丁寧な進め方を求める請願」が提出され、全会一致で採択されました。

請願は、メリットだけでなくデメリットについても説明することを求め、懸念することとして大規模校化など5点をあげています。また、第1小学校のみの移転新設、あるいは3校とも現状のまま残す「施設分離型一貫校」の選択肢もあるとして、その検討を求めています。

地域では子どもたちと一緒に、今の小学校がなくなること、新しい大きな学校ができることについて話し合う取り組みも行われています。柏市は大規模小中一貫校づくりを白紙に戻し、地域住民・保護者の声を丁寧に聞くべきです。



市民ネットの林さえこ市議、共産党のやざわ英雄市議が参加して開かれた地域での集まり

シルバーパスの早期実現を

柏市は7月10日から「ワニバス」（市内の南部地域で運行してきた旧称・ジャンボタクシー）の逆井・南増尾・沼南コースで、シルバーパス制度の実証実験を行っています。

「75歳以上の運転免許証を持たない市民」が対象で、200円の運賃が、市が発行した無料「シルバーチケット」1枚と100円（または回数券1枚）で利用することができます。



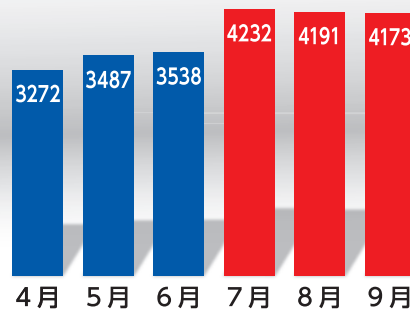
実証実験を開始した7月以降は1カ月の利用者が千人近く増えています。

9月議会でシルバーパス（高齢者のバス運賃割引制度）の早期実現を求めた共産党の質問に市長は、「ワニバスでの実証実験を通じてコスト負担を含めた有効性が確認できれば、路線バスへの導入に向けてバス事業者と協議、調整を進める」と答弁しました。

シルバーパスは共産党

が提案し、「100円コミバスを走らせる会」が実現を求めて運動してきました。太田市長も市長選挙で公約に掲げました。高齢者の「お出かけ支援」は、地域活性化にもつながります。

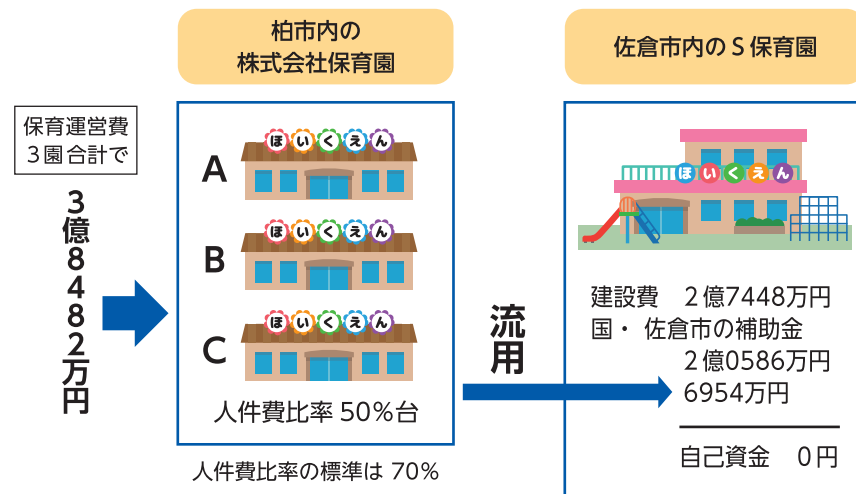
1カ月の利用者数



保育士の人件費を流用？

保育士の給料などに使うべき税金（保育運営費）を流用して、他市に保育園を建設する株式会社が後をたちません。

国の規制緩和によって、市と協議して承認されれば保育運営費の3割までの流用が認められています。去年は、同じ株式会社の保育園（3園）の保育運営費から合計約7千万円が佐倉市内の保育園建設に流用され、この佐倉市の園は自己資金なしで保育園を作っています。柏市内の3つの園では人件費への支出が極端に少なくなっており、改善が必要です。



保険証の廃止は撤回を

政府は現在の紙の保険証の新規発行を12月2日から停止して、マイナ保険証の強制を行おうとしています。マイナ保険証の利用率は9月で13.87%。総選挙では現行保険証の廃止を掲げた与党は過半数割れを起こしました。

全国保険医団体連合会が10月に発表した調査では、約7割の医療機関でマイナ保険証での資格確認に関するトラブルが発生しています。政府はトラブル対策として新たな資格確認方法を次々追加し、その結果資格確認方法が9種類も存在する事態になっており、医療現場での大混乱は必至です。

紙の保険証の人には、申請なしで期限が切れる前に保険証と同じ「資格確認書」が送られてきます。マイナ保険証のひもづけ解除も10月末から柏市役所・保険年金課で受け付けています。

マイナ保険証によるトラブルをなくす最も簡単な方法は、現行の紙の保険証を今後も残すことです。保険証を廃止するなどの声を広げましょう。